

ニッタ株式会社は、1906年に北海道十勝地方に進出し、以来100年以上にわたり、植林・間伐等の森林整備事業を行ってまいりました。現在、約6,700haの山林を保有し、森林の整備及び維持管理を行っていますが、木材市況の低迷等から施業は十分とはいえない状態です。本プロジェクトにより、自然と人との共存を目指し、豊かな大地、水と緑を次世代に残すため、温室効果ガスの更なる吸収を図ります。

プロジェクトの実施場所	北海道中川郡
吸収量(予測)	2008年 632 t-CO2
	2009年 1,264 t-CO2
	2010年 2,012 t-CO2
	2011年 1,971 t-CO2
	2012年 1,892 t-CO2
在庫量	4,641 t-CO2(2012年6月末)
クレジットの次回発行予定	未定
1t-CO2あたりの希望単価	¥5,000 ~ ¥10,000



カラマツの育苗



間伐後の森林

現在から将来に伝えるべき、森林の価値

ニッタが、十勝の森林と出会って100年。ニッタは、森林の持つ貴重な価値を、将来に引き継いでいくよう取り組んでいます。

森林の持つ公益的機能には、温室効果ガスの吸収だけではなく、水源かん養・土砂流出防止・保健休養・生物多様性保全など様々な機能があります。

今回創出されるクレジットをご活用いただくことは、これらの機能を更に向上させることにつながります。



施業現場



■担当者連絡先

ニッタ株式会社経営管理グループ 懸上(カケガミ)
TEL: 06-6563-1217 EMAIL: CSR@nitta.co.jp